

処理数量200万トン達成

8月11日現在の災害廃棄物の処理数量が200万トンを超え、処理予定数量(314万トン)に対する処理完了率は65.3%となりました。

8月末時点における一次仮置場は残り7ヶ所(雄勝町民グラウンド、山鳥駐車場、宮城水産公社、田代島、雲雀野公園、南浜埠頭、雲雀野埠頭)となり、当施設(二次仮置場)への未搬入量は10万m³余りを残すのみとなりました。

先月号でもお伝えした通り、廃肥料、高含水比津波堆積物、廃船舶、油混じり土砂などの処理困難物の処理も順調に進んでいる他、当施設で中間処理を行った後の再生資材や飛灰・石膏ボードなどの最終処分となる廃棄物の搬出先もほぼ確定しました。

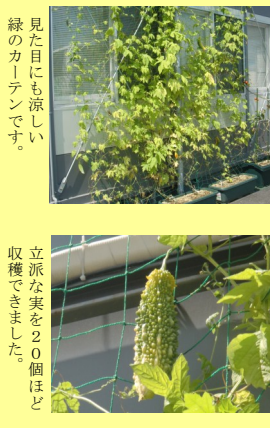
9月末からは、一時休止していた破砕選別設備の夜間作業を再開させる予定ですので、焼却炉の他、土壌洗浄プラント、土質改質プラント、ツイスター等のほぼすべての設備が24時間フル稼働の体制となり、12月末までの4ヶ月間で約100万トンの処理を行うべく、ラストスパートをかけることとなります。



雲雀野埠頭一次仮置場での積み込み状況

「ゴーヤ日記」season2

8月3日に気象庁から東北地方の梅雨明けが発表され、お盆前になってようやく石巻にも夏らしい夏が訪れましたが、当事務所の「緑のカーテン」はいつのまにか事務所1Fの窓をしっかりと覆い、大きな実をいくつもつけるほどに成長しています。収穫したゴーヤをゴーヤチャンプルにしておいしくいただきました。8月末にはつるの撤去を行いました。(ゴーヤ日記は今月号で終了です)



立派な実を20個ほど収穫できました。



赤で囲んだ部分が埋立エリア (H25.5.9撮影)

の受け入れも視野に入れて急ピッチで埋立を進めることで、年内にも予定エリア全体の埋立が完了する予定です。

廃棄物埋立護岸埋立30万m³ / 80万m³

雲雀野北埠頭東側廃棄物護岸埋立工事は2月20日の開始から約半年が経過し、8月末までの埋立量は約30万m³となりました。

焼却灰の造粒固化材、土壌洗浄後の洗浄礫、脱水汚泥の不溶化処理後物、再生コンクリートガラなどを中心に投入を行っておりますが、30万m³は全体埋立容量(予測値)約80万m³のうち約40%に相当します。

今後は、他ブロック・他処理区からの受け入れも視野に入れて急ピッチで埋立を進めることで、年内にも予定エリア全体の埋立が完了する予定です。



8/29 の状況 (手前側はほぼ陸地になっています)



2/20 埋立開始前の状況



荷台のタンクに燃料油を入れて運搬します

はたらく機械シリーズ⑧ タンクローリー

固体、液体、気体を運ぶための貨物自動車で、主に石油・ガスなどの運搬に使われています。「ローリー」とはイギリス英語で「トラック」の意味。トラックはアメリカ英語。

当施設のAヤードに設置した給油施設で小型タンクローリー車(最大積載量4kL)に燃料(重油・軽油)を補給し、場内に点在する数百台に及ぶバックホウなどの重機や発電機にパトロール給油を行っております。

なお、国内最大規模の焼却施設が24時間フル稼働しており、Aヤードよりもさらに多くの燃料を使用しているBヤードでは、セミトレーラー型の大型タンクローリー(最大積載量16kL)などを使用して、各石油メーカーの貯蔵基地から燃料を直送しています。

動物愛護月間(?) 猫の里親見つかる

当施設(Bヤード)内で見つかり、しばらく保護しながら里親を探していた猫の親子。今般スリーテック㈱の泉さんのご厚意により快く引き取っていただけることになりました。JV職員との関係者一同胸を撫で下ろすとともに、泉さんのやさしさに感謝しています。



- ### —9月の主な予定—
- 9/2 震災訓練・安全大会
 - 9/3 鹿島支店幹部パトロール
兵庫県議会視察
日本セラミック協会視察
 - 9/4 愛知県環境資源循環促進課視察
 - 9/9 鹿島支店幹部パトロール
 - 9/10 石巻老人クラブ見学会
新潟県十日町市商工会議所視察
 - 9/13 NPO法人フリースクール彩星学舎視察
 - 9/19 栗原エコフォーラム視察
 - 9/27 ひばりのご縁市

④抱負 ③趣味・特技 ②主な職歴 ①出身地

①宮城県石巻市
②石巻市役所に約40年間勤務
主に産業・建設の事業部門に従事しました。

③地域イベント進んでと家庭菜園
④復旧・復興が進んでいること
に対し、被災地のひとりとして感謝の気持ちでいっぱいです。少しでも皆様の役に立つよう頑張ります。



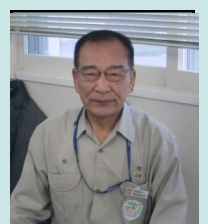
次長 八木 誠

JV職員紹介

①宮城県栗原市
②宮城県の警察官として42年間働き、主に刑事として過ごしました。

③春・夏、秋は山歩歩きと毎日約1時間の散歩・野菜作り

④住み慣れた石巻が大震災により無残な街並みになりました。この被災地を一日でも早く復興させることが現在の仕事。頑張ります！



次長 曾根 敏雄